

KAWASAKI STEEL GIHO

の適用\*

## Application of Expert System to Material Handling System



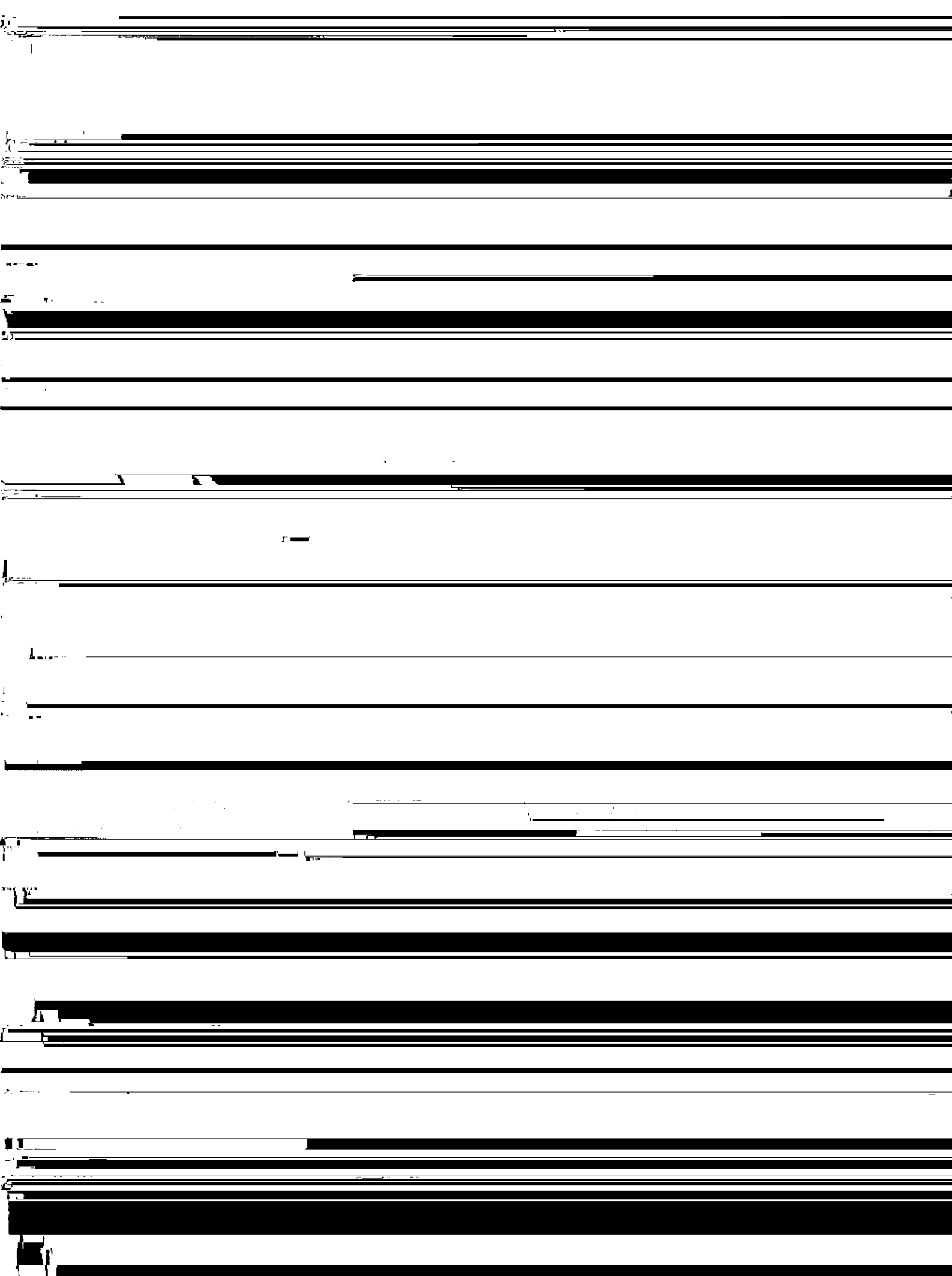
### 要旨

川崎製鉄では、千葉製鉄所において1990年に新物流管理システムを稼働させた。その中で、従来手法によっては開発困難と考えられていた計画立案サブシステムをエキスパートシステム技術を用い

システム

川崎製鉄は 1988 年頃ととの橋の計画建設のシステム

| Vehicle No.<br>(loading) | 1st delivery | Work hours | 2nd delivery | Work hours | 3rd delivery | Work hours |
|--------------------------|--------------|------------|--------------|------------|--------------|------------|
|                          |              |            |              |            |              |            |



## (2) 積込場所

製品の種類によって、場所あるいは積込順としてまとめて配

## 4.2.3 船内積込順の決定

船の前後のバランスを考慮しながら積付ライン単位の積込順を決

(World-0)  
Assignments until delivery lot K-1 are completed.

ではないので、しばしばシステムの出す結果に疑問の生じることがある。システムの機能不足の場合も、熟練担当者の勘違いのこともある。いずれにしても徹底的にフォローする必要がある。これは、「エキスパートシステム特有の手離れの悪さ」と

るエキスパートシステムはその有効な解決手段の一つである。物流管理システムの再構築にあたり、二つのサブシステムにエキスパートシステム技術を適用した。

「製品出荷トラック配車組」は、出荷可能な製品情報に基づ